

令和2年度実施の文化推進事業助成対象事業 (令和元年度決定事業) の評価結果

【総合評価】

- 1 令和元年度に助成決定した文化創造・発信事業4件及び文化団体活動3件については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、文化創造・発信事業で開催中止となった事業が1件あったものの、感染症拡大予防対策を講じながら事業計画等を見直した上で実施することができ、当初の事業目的をおおむね達成している。未曾有の事態を考えれば大いに健闘したといえる。
- 2 文化創造・発信事業の事業者は、中央区文化推進事業助成審査会が開催する中間報告会(令和2年7月開催)や最終評価報告会(令和3年3月開催)において、実施状況等をつぶさに報告した。その後、審査会委員からいただいた専門的な助言を事業運営や次年度以降の事業展開に向けた構想づくりに活用できていた。
- 3 文化創造・発信事業3件は、内容的にいずれも中央区の歴史や伝統、あるいは芸術文化活動がいかされた文化事業であり、中央区の新しい文化の創造や発展につながることを期待できるものである。
また、文化団体活動3件も地域に根づく芸術文化活動を長年にわたり振興・発信している団体である。
文化創造・発信事業や文化団体活動とも、本助成制度を活用することで、区内文化の振興に貢献したものと認められる。
今後、これら事業及び活動が継続し、さらなる発展を遂げるためには、区内の関係団体や他の文化事業者との連携を図るとともに、後継者づくりなどの人材育成にも取り組んでいくことが必要である。

【各事業の成果】

- 1 文化創造・発信事業助成 4件

『心に残る・未来に残したい記憶「佃島・月島百景」～第2集～』

佃島・月島に生まれ育った方へのインタビュー映像をまとめ、ホームページで順次発信した。また、その素材を活用して、「まるごとミュージアム 2020」等イベントに参加し、ビデオ上映会、講演会、月島路地マップを活用した街あるきなどの取組みを行った。今年度は本事業の発展形として月島長屋学校や地域住民と連携して「地域雑

誌「佃・月島」創刊号を制作、発行した。こうした佃島・月島の歴史的・文化的資源を再発見する取組みにより、わがまちへの理解・愛着を深め、新旧住民や世代間の交流を進めるとともに、活力あるまちづくりにもつながる機会を提供することができた。

**「銀座から世界へ！！ 世界から銀座へ！！」
銀座奥野ビル 306 号室プロジェクト～10 周年イベント/広報事業**

銀座奥野ビル 306 号室プロジェクト 10 周年記念イベントとして、メンバー全員によるグループ展を開催した。これにより、イベントを楽しみながら銀座の歴史や文化に触れることを通じて人間的な交流を深める機会を提供することができた。

また、制作発行した記念誌「箱 306 の hako」は、奥野ビル 306 号室の歴史的価値を明らかにした資料として貴重である。

**【変更後】 月島歌劇団 目と耳で楽しむ中央区～いつも心に音楽を～
【変更前】 月島歌劇団 ワンコインコンサートシリーズ**

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため生のコンサートを開催することはできなかったが、YouTube を用いた動画配信に計画を変更して実施した。

これによって、コロナ禍の生活においても唱歌を通じて日本の四季を感じることに、また、中央区に馴染みのある曲やイラストを用いて本区の魅力に触れてもらうことができ、芸術が人の心に平穏や潤いをもたらすことをあらためて認識する機会を提供することができた。

**「ようこそ東京へ」プロジェクト
ーわたしたちのまちは こんなまち、三世代で歌う第九とともにー**

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業中止

2 文化団体活動助成 3 件

ふるさとの文化を育む「新富座こども歌舞伎」

江戸歌舞伎にゆかりの深い中央区、地域の人たちの指導のもと、企業の協力を得ながら子どもたちが歌舞伎の稽古を重ね、地元の例大祭に合わせて公演を行っている。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため例大祭公演（5月）を中止し、感染症が小康状態となった秋に錦秋特別公演（11月）を行った。地域密着の稽古と公演をとおして、古典芸能への関心を高めるとともに、こども歌舞伎をふるさとの伝統文化として根づかせていくことに努めている。

中央区交響楽団第26回定期演奏会・2020冬のコンサート

地域に根ざしたアマチュア・オーケストラとして区内の音楽ホールで定期的にコンサート等を開催している団体である。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5月の定期演奏会は中止となったが、冬のコンサートは実施することができた。演奏会では未就学児も入場可能とするほか、平成30年の冬のコンサートから入場料を負担のしやすい寄附制にするなど、次世代を含めた幅広い年齢層の方が気軽にクラシック音楽を楽しめる機会づくりに努めている。

一緒に踊りましょう“輪になって” ーまるごとミュージアム2020に参加してー

地域の伝統芸能の一つである「浜町音頭」を次世代にも継承するため、踊りや三味線などの稽古を積み重ねながら盆おどり大会の開催などを通じて浜町音頭の普及に努めている団体である。令和2年度にはじめて「まるごとミュージアム2020」に参加し、区民等に気軽に盆踊りの楽しさなどを体感できる機会を提供することができた。

【中央区文化推進事業助成審査会委員】

委員長 高萩 宏

委員 陣内秀信、四ノ原恒憲、大西珠枝、新治 満